

企画力 自信有 **コスト** 相談 **オンライン** ワン技術 **メイドイン** ジャパン **試作可** 小ロット **量産** 対応



同社が手がけた電器・ガス石油機器などの精密板金プレス部品群



自社設計製作の自動化機器の一例

飯田金属工業 株式会社

金型から組立てまで 塑性加工の明日を見つめ 自動化機器まで自社製作

小ロットから大ロットまで 一貫生産が可能

弱電・家電部品の製造、プレス加工、金型設計製作、切削、溶接、メッキ、塗装、組立てまで、一貫生産を行っている飯田金属工業。ガス・石油の燃焼ブロックから、自動車ケーブル・防振用金属部品、薄型テレビ等の家電製品部品まで、薄板精密板金加工を得意とし、扱う製品は幅広い。特に、IH調理器のトップ部分に利用されるステンレス・カラー鋼板を保護シートなしで加工する技術においては定評がある。加工時にキズや汚れを付けないうえにコストダウンと地球環境にもやさしい加工となり、顧客に高く評価されている。

また難易度の高い加工にも積極的にチャレンジし、液晶テレビのバックライト用LEDヒートシンクやPDPテレビの103インチ用パネル支持部品、燃焼バーナー等のガス重要保安部品の加工ノウハウを有し、高い優位性を維持している。また小ロットから大ロットまでのフレキシブル4ライン体制の構築により顧客のニーズに応え顧客満足度も高い。プレス加工を左右する金型の設計製作も社内での技術力を高め複合型や新加工法の技術を構築

築してきている。新機能材の取り組みも進めておりアルミセラミック傾斜材は軽く薄く、表面強度が向上しキズがつきにくく膜剥離も起こりにくい特徴があり活用の幅が広い。これらの固有の技術を結集し高めた総合力により今まで以上の飛躍となることは言うまでもない。

製造時に作製した機械を 自社製品に高め 活路を見出す

同社は、自社独自の設計・製作の自動化機器をも製造している。さまざまな受注により機材を必要とした際、既存の機器を自社で改良しながら使用したのがきっかけだ。それらの機器を利用して、そのうち自社でもその加工技術を持していることに気が付いた同社。ならば、自社でこの自動機を製作製造してしまえばコストは大幅に下がる。小ロット受注の製品に併せ毎回機器購入するほどのコストはかけられないのが正直なところ。それを自社製作することで大きくコスト削減を図り、まさに「かゆいところに手が届く」自社機器で加工することを実現させた。

今後、独自のノウハウを組み込んだ省力化機器、自動化ロボットを自社製品として販売し、新たな展開を模索している同社。現場から生まれたオリジナル機器は、どう羽ばたくかが楽しみでもある。そしてめざすは、さまざまなアイデアと精密な加工技術により省エネ・クリーンな製品を提供する環境対応型企業だ。難易度の高い精密加工に果敢にチャレンジし、オンライン企業となる。その姿勢は、まさに塑性加工と同じく、より良きものと徐々に変化し、明日を見つめている。

Company Profile

飯田金属工業株式会社

住 所 〒581-0061
八尾市春日町1-9-12
TEL 072-991-0531
FAX 072-991-9514
創 業 昭和25年2月1日
資本金 2,400万円
従業員 100名
代表取締役社長 飯田 勝

■主な事業内容

金属部品の設計試作から量産、二次・三次加工、組立て、精密プレス金型設計製作、合理化省力化機器の設計・製作

■主な取引先

大手家電メーカー、ガス石油機器メーカー、自動車部品メーカー

<http://www.iida-kinzoku.com>

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント

材料調達から組立一元化受注を
実現致します

代表取締役社長 飯田 勝 さん



弱電、ガス器具を中心とした薄板精密板金加工から組立加工まで一元化受注を実現しています。プレス加工はもちろん、板金加工、二次三次加工も含め、ビスひとつから自社調達。注文書一枚で、納品まで実現します。